

お盆迎えのお参りをご家族で

国指定 重要無形文化財

会津高野山冬木沢詣り

夏を迎えた会津地方。

お盆を前に、会津若松市河東町冬木沢の会津高野山八葉寺では、毎年、八月一日から七日まで「高野山詣り」がおこなわれます。「冬木沢詣り」とも呼ばれるこのお参りは、お盆中に各家庭にお帰りになる御魂(みたま)を、みな様が会津の野辺(のべ)である冬木沢までお迎えに行く、盆迎えのお参りです。

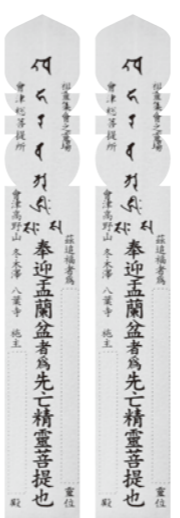
野辺とは、野の果て、あの世とこの世の境界という意味です。冬木沢の地は、会津盆地の丑寅(うしとら)の角に位置しており、鬼門として、古来、あの世とこの世の交流ができる場所、とされてきました。このように、お盆月にはいるとすぐに、亡くなった方々を、野辺までお迎えに行くというのが高野山詣りの本来のありかたです。会津総菩提所、祖霊集会の霊場と伝えられるゆえんです。

会津地方では必ずお参りに行くものとされてきて、喪があけた(四十九日忌、もしくは納骨が済めば可)新仏の遺族や近親者はもちろん、すべての人々が連れ立って参拝します。そして新亡精霊やご先祖さまが、今年もおうちまで無事お帰りになれますよう、わざわざ冬木沢まで出向いて、お迎えするのです。

会津総菩提所 祖霊集会の霊場

冬木沢詣りについて多くのご質問を頂戴いたします。その中で最も多い、お参りのしかたについて説明いたします。一般の神社仏閣のように、各礼拝所でお賽銭をあげてお参りするという方法が基本となりますが、その上で、「冬木沢では、

① お盆のお迎えに来たしるしとして、三十五センチ程の経木塔婆を、参拝のみな様のところへお渡しし、お盆のしるしとして、三十五センチ程の経木塔婆を、「阿弥陀堂」で求め、ほとけさまのお名前(できればお戒名・法名)を書き、お盆のしるしをそえて、高野マキと共に「奥の院」に納めます。



② 新しいほとけさまの他に、ご先祖代々様の盆迎えもする場合は、少し大きめの「先祖代々の経木塔婆」も求め、同様に「奥の院」に納めます。

③ 今年、新盆、あるいは御年忌に当たるほとけさまに、特別のご供養を申し上げたい場合は「お施餓鬼塔婆供養」または「特別回向」の申し込みを「阿弥陀堂」の「特別回向受付所」で申し込んでください。当寺の過去帳に記載し、ねんごころに「回向(えこう)いたします。ただし、もし感染が不安で参詣を決めかねている場合は、HPから事前申込みもできます。

④ このチラシの表面にあるQRコードからアクセスしてください。お申込みは7月30日正午までとなります。小型木製「五輪塔」に御遺骨、または御遺品の一部を納入して永代供養を申し込む場合は、故人の御遺骨、御遺髪、御遺爪等を少量(直径1.5cm、高さ2cmの円筒に納まる程度)ご用意して持参ください。用意できない場合でも、お戒名はわかるようにお願いいたします。過去帳に記載して永く当寺で「ご供養いたします」。

⑤ 小型木製「五輪塔」をご自分で作り、永代供養をお望みの方は、当寺で用意した手作り用の五輪塔製作セットをご利用ください。丁寧な説明書が付いています。

そうして、お納めいただいた塔婆や、お申し込みいただいたご回向は、毎日午後一時から僧侶が総出仕して法要を執り行い、丹誠を込めてご供養いたします。ご都合がつく方はぜひ参列して、お焼香ください(45分前後)。

会津高野山には高野マキを!!

会津高野山詣りにお供える花としてもっともふさわしい「高野マキ」の切り枝を用意しました。

ビニールや新聞紙で包装された生花は、環境上、始末に大変困っております。お持ち込みをお控えください。さいますようお願いいたします。

ぜひ、高野マキのすがすがしい香りにふれて下さい。

各種冥加料

経木塔婆	二百円
先祖代々の経木塔婆	五百円
ローソク・線香	各五十円
お札 各種	二百円
五色結縁腕輪	五百円
特別回向	五千円
お施餓鬼塔婆供養	一万円
五輪塔永代供養	二万円

手作り用の五輪塔製作セットは三千円でおわけ致します。その場合の永代供養料は一万七千円です。

大好評 阿弥陀様との結縁の腕輪

会津若松市河東町広野字冬木沢208 会津高野山 冬木沢 八葉寺

管理 八葉寺永世兼帯 金剛寺 会津若松市七日町8-48 TEL0242-22-1689